

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 627 号  
2013 年 9 月 1 日  
発行  
アスカ工業株式会社  
〒444-0303  
西尾市中畑町卯新田上28

## CO<sub>2</sub>排出量35%削減を達成

アスカ工業株式会社 取締役社長 天野 卓

アスカ工業株式会社中畑新工場稼働の目的の第1でありましたCO<sub>2</sub>排出量の大幅削減の第1段階が下記の通り完了いたしました。

昨年、工場移転に伴い、経済産業省の推進する

「温室効果ガス排出減量連動型中小企業グリーン投資促進事業」

の一環である

「国内クレジット制度・排出削減事業」

としてご承認いただき、順次削減計画を遂行して参りました。

この結果、この度一般社団法人低炭素投資促進機構のご協力のもと、国内クレジット認証委員会（委員長・茅陽一氏）より

クレジット量 3943t-CO<sub>2</sub>（平成24年6月～平成25年3月）

の認証を受けました。この量は旧工場の排出量と比較すると35パーセントの大幅削減が達成できたこととなります。

名実ともに「地球にやさしい企業」として新たな一歩を踏み出したわけで、今後も更なる熱効率化を進め、温室効果ガス排出削減に努め、皆様に、そして社会で愛される企業として、社員一同ますます自信を持って行動して行きたいと思っております。

ご報告とともに、皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

国内クレジット認証証(右)  
排出削減事業承認証(左)

<b>国内クレジット制度 排出削減事業 承認証</b>
排出削減事業番号：JCDM-PJ0915
排出削減事業の名称 アスカ工業株式会社におけるアルミ溶解炉の更新事業
排出削減事業者名 アスカ工業 株式会社
代表者氏名 天野 卓 殿
<small>国内クレジット認証委員会は、上記事業について申請内容を審議した結果、承認要件に適合すると認められるため、国内クレジット制度運営規則に基づき、上記事業を排出削減事業として承認いたします。</small>
認証日：2012年10月11日 国内クレジット認証委員会 委員長 茅 陽一

<b>国内クレジット 認証証</b>
排出削減事業番号：JCDM-PJ0915
排出削減事業の名称 アスカ工業株式会社におけるアルミ溶解炉の更新事業
排出削減事業者名 アスカ工業 株式会社
代表者氏名 天野 卓 殿
認証を受けたクレジット量 3943t-CO <sub>2</sub> （識別番号：00915-1～00915-3943）
クレジット対象期間 平成24年6月15日～平成25年3月31日
<small>国内クレジット認証委員会は、上記について申請内容を審議した結果、承認要件に適合すると認められるため、国内クレジット制度運営規則に基づき、上記国内クレジットを認証いたします。</small>
認証日：2013年7月9日 国内クレジット認証委員会 委員長 茅 陽一

## 第50回アスカ・セミナー 北岡山治氏講師に決定

アスカ工業株式会社は、昭和39年の秋に第1回アスカ・セミナーを開催して以来、秋の年中行事として好評のうちに回をかさね、本年は第50回を迎えることになった。

このほど講師が決定し、すべてのスケジュールが次のように発表された。

- ・期 日 10月4日(金曜日)・5日(土曜日)
- ・会 場 吉良観光ホテル(三河湾国定公園)
- ・セミナー **アルミ合金の基礎知識  
K・モールドの正しい使い方**  
一般社団法人日本アルミニウム合金協会 技術顧問 工学博士  
北岡山治氏

北岡山治氏は、日本軽金属株式会社に御在職中、平成6年第31回と、平成11年第36回と2回にわたりアスカ・セミナーにご出講いただいております、また今日業界トップの技術リーダーとしてご活躍中である。

今回、第50回の記念すべきセミナーに当り、特にご多用中を枉げてご出講いただくことになった。

「合金」の技術は人類の歴史と共に大そう古いのにかわらず、依然まだ解明されない謎が多い。北岡講師の研究業績が注目される場所である。

尚、セミナー閉講後、業界情報の交換の機会として例年参加者から大好評を得ている大懇親会を挙げる。本年も例年に劣らず三河湾ワイキキビーチの夜景を眺めつつ秋の夜長を心ゆくまで楽しめるよう企画が進ん

でいる。

50年間にわたって、毎年秋の恒例行事のセミナーが継続して挙げてきたことは、一重にお取引先の皆様様の大きなご支援によるものでアスカ工業社員一同深くお礼を申し上げる次第である。

本年も例年以上のご参加者と、その盛会が大いに期待される場所である。

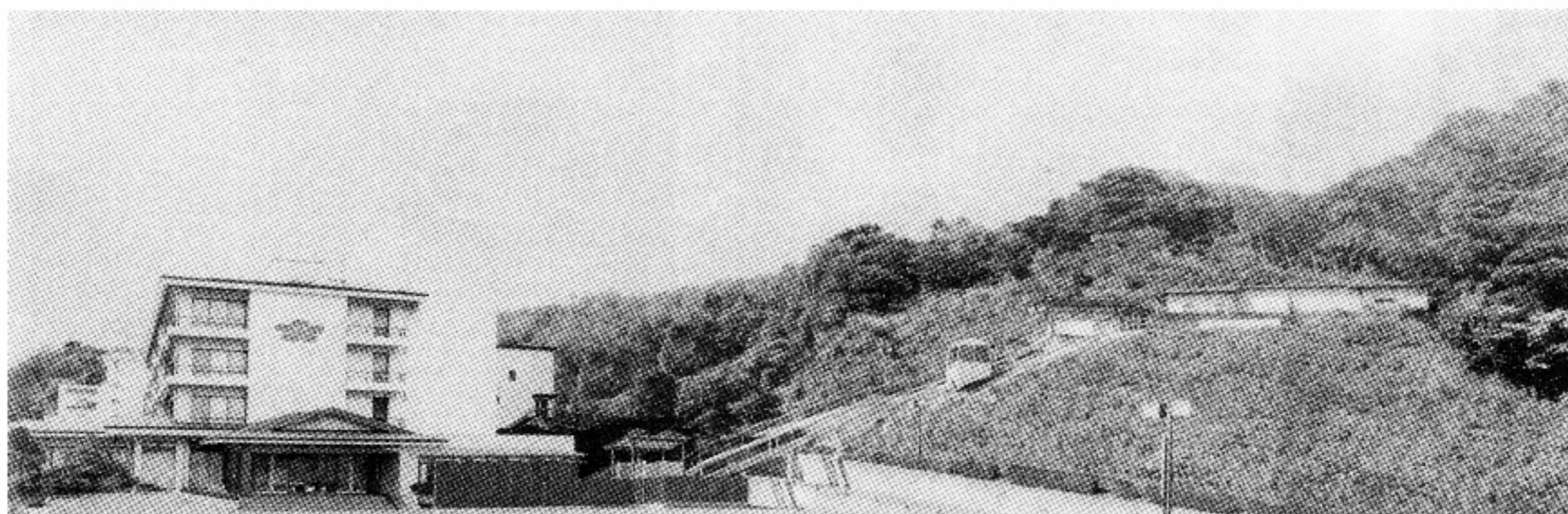
(写真は会場の吉良観光ホテル)

### 第25回 アスカ ゴルフ・コンペ



第25回アスカ杯ゴルフ・コンペは次のように挙行予定となり、多数のご参加お申込みをお待ちしている。

- 日 時 10月5日(土曜日)  
8:24スタート(7:50集合)
- 場 所 吉良カントリークラブ  
電話 0563-32-2111  
(セミナー会場より車で約5分)
- 費 用 参加料 ¥5,000  
(プレイ代は各自ご負担)
- 賞 品 優勝、BB賞、その他賞品多数





## CAN TO CAN トップ・シーズン

今年の夏は例を見ない猛暑を経験したが、このためビールを筆頭に各種の飲み物の消費量が飛躍的に増加した。

今年のアルミニウム缶の消費は、アルミ缶リサイクル協会の予測を大きく超えるものと推測される。

例年、9・10月は使用済みアルミニウム飲料缶が大量に入荷して、リサイクルの繁忙期を迎えるが、今年は例年以上に大量の入荷が見込まれる。

写真は連日大量に持ち込まれて、リサイクルを待つ使用済みアルミニウム缶。リサイクルされ圧延工場で再びアルミニウム合金板になり、缶に成型される。

## マグネシウム地金 価格急反発

中国産マグネシウム地金の輸出価格が急反発して注目を集めている。最近の輸出価格はトン2,720～2,740ドルで、10日前に比べて180～200ドルに上昇した。

過去最高と云われる生産量を背景に、下落基調であった相場が急変した。昨年7月の直近高値3,480ドルからは下落の一途をたどり、昨年末には3,000まで下落した。

本年に入り4月までジリ安をつづけ、7月下旬に至って2,540～2,560ドルと、高値から実に900ドル低下した。

推定生産コスト2,700ドルを割り込んだことから、反動高とも考えられる一方、需給事情は依然として需要不振から供給過多の状況にあると云われ、値上りの要因は少ないと考えられる。

マグネシウム地金は金属シリコンに次ぐアルミニウム合金の添加金属で、その供給の大部分を中国に依存しており中国の生産事情には不明の点も多い。

中国マグネシウム協会の発表する数字、6月の生産79,100トンが過去最高で、依然需要を上回る生産が続いており、相場急反発の要因はわからない。

当面の状況推移を注目したい。

## アルミニウム缶メモ

- ・日本人が1年間に飲むビールやジュースなどのアルミニウム缶は  
**191億缶**
- ・日本人成人1人あたり1年間に  
**190缶**
- ・日本中で1年間に回収されるアルミニウム缶は  
**180億缶**
- ・アスカ工業株式会社でリサイクルされる1年間のアルミニウム缶は  
**4億缶**
- ・1ヶ月では  
**3千3百万缶**
- ・アスカ工業株式会社でリサイクルされる1.1トンインゴット1個を作るには  
**7万缶**
- ・1日に20インゴットを生産するには  
**140万缶**

## ハワイアン・フェスティバル

吉良ワイキキ・ビーチ

吉良ワイキキ・ビーチで8月26～30日ハワイアン・フェスティバルが開かれ、ハワイのプロダンサーを含め、千数百名のプロ・アマのダンサーが全国から集って競演し、大盛会に終わった。



## 社内情報

- ◎アスカセミナーの講師は、すでに2回のご出講をいただいた北岡山治先生にきまりました。業界随一の研究者をお招きでき、記念すべき第50回セミナー開催に大きく期待が高まっています。
- ◎大勢様のご参加を心からお待ち申し上げております。
- ◎例年にない猛暑を経験し、アルミニウム飲料缶の需要は旺盛で、使用済みアルミニウム缶の発生も急増しています。
- ◎リサイクルに充分の態勢を準備しています。

## 編集後記

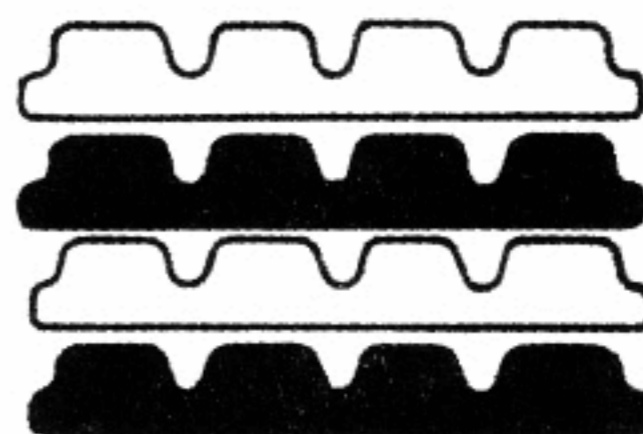
- ☐残暑お見舞い申し上げます。経験したことのない猛暑となりました。
- ☐さわやかな新涼の風の到来が、1日も早く来ますよう切望しています。
- ☐当社宛の郵便物に、まだ住所が改正されず旧住所のままのものが 있습니다。転送の期限が近付きます。
- ☐ご面倒ですが、特にコンピューターに入力された住所についてご確認とご訂正をいただきますようお願いを申し上げます。

## アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。

ISO 9001 審査登録

# アスカ工業株式会社



〒444-0303  
愛知県西尾市中畑町卯新田上28  
TEL <0563> 77-0500(代)  
FAX <0563> 77-0501  
<http://www.al-asuka.jp/>